平成18年度当初予算の概要

平成１８年度予算は、市税収入が２年連続で前年度を上回るものの、各種基金など臨時的な財源の活用は多くを望めず、三位一体の改革に伴い、普通交付税が不交付となるなど、極めて厳しい財政環境での編成となった。

編成にあたっては、あらゆる歳入確保や徹底した行政改革の推進などにより、限られた財源を重点的・効率的に配分し、初年度となる第２次５か年計画の推進を基本として、１２の「まちづくりの大切な視点」ごとに施策の充実を図った。

また、国の１７年度補正予算へ積極的に対応した。

1 予算編成の背景

(1) 国の予算規模

一般会計　　７９兆６，８６０億円　　（前年度比　３.０％減）

一般歳出　　４６兆３，６６０億円　　（前年度比　１.９％減）

(2) 地方財政計画

規　　模　　８３兆１，５０８億円　　（前年度比　０.７％減）

(3) 本市の財政見通し

歳　　入・市税収入　　１,６７０億円（前年度比　３.１％増）

・三位一体の改革の影響

国庫補助負担金の廃止・縮減　　△２３億６,０００万円

所得譲与税　　２５億３００万円

一般財源総額（市税・臨時財政対策債）　　１,７８０億円（前年度比　１.７％増）

（普通交付税は９年ぶりに不交付）

・市　債　　抑制を基調に適切な活用　　５２１億１,６００万円（前年度比１１.６％減）

歳　　出　　蘇我球技場等の継続的事業が完成したことなどにより、普通建設事業が大幅に減少するものの、児童手当や生活保護費などの扶助費や市民生活の質的向上を図るための各施策に多額の財政需要

2 予算編成方針

(1) 第２次５か年計画の推進

新たな１２の「まちづくりの大切な視点」を踏まえ、計画事業の着実な推進

(2) 行政改革の推進

新行政改革推進計画や財政健全化プランの取り組み項目を可能な限り予算に反映

(3) 国の補正予算への積極的な対応

小中学校の耐震補強やアスベスト対策などの防災関連予算を一部前倒し

4 平成18年度予算規模

一般会計	3,323億円	（前年度比 93億円減	2.7%減）
特別会計	3,390億6,800万円	（前年度比 244億4,300万円減	6.7%減）
合　計	6,713億6,800万円	（前年度比 337億4,300万円減	4.8%減）

5 主要事業の予算反映状況（12のまちづくりの大切な視点別）

(1)	千葉市らしさの確立	46件	23億3,700万円
(2)	安全・安心のまちづくり	74件	403億7,800万円
(3)	都心の育成・整備と暮らしやすい地域づくり	64件	453億9,300万円
(4)	少子化への取り組み	40件	164億9,600万円
(5)	若い力を生み出す取り組み	23件	37億8,500万円
(6)	超高齢社会に向けた取り組み	34件	58億4,800万円
(7)	ユニバーサルデザインによるまちづくり	24件	108億2,700万円
(8)	環境との共生	34件	82億4,300万円
(9)	産業の再生・雇用の促進	30件	87億6,500万円
(10)	高度情報化への対応	14件	7億8,800万円
(11)	協働のまちづくり	19件	1億8,300万円
(12)	地方分権の進展に伴う対応	－	
	合　計	402件	1,430億4,100万円
	〔　うち新規・拡充分	179件	168億5,500万円　〕